

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	社会教育一般管理費										担当課	部課名	生涯学習部生涯学習総務課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	002	説明	01	課等の長	齋藤 拓也	電話	5312

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 34 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	社会教育行政の基盤整備を目的に、社会教育委員及び公民館に配置している非常勤職員の報酬の執行、公民館職員等の研修会を実施する。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	法律等	社会教育法					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会議の運営（議長1人・委員14人） 7回開催 ・公民館非常勤職員の配置（社会教育指導員5人） ・公民館職員等への研修の実施 7回開催 ・課内FAX, 電子複写機及び部内施設に自動体外式除細動器（AED）を賃貸借により設置 						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 神奈川県社会教育委員連絡協議会等) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 17,036 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報酬	12,811 千円	生涯学習非常勤職員, 社会教育指導員報酬
		賃金	1,395 千円	パート賃金
		役務費	302 千円	会議録反訳料, FAX通信料
		使用料及び賃借料	1,411 千円	AED賃借料, 印刷機賃借料, 電子複写機賃借料ほか
		その他	1,117 千円	旅費, 報償費, 需用費, 負担金補助及び交付金
財源内訳	H30年度 支出済額 17,036 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	17,036 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	2.05
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	5.31
合計	7.36

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	43,582	37,315	38,096	35,945			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	36,434	36,878	38,661	36,790			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	5,340	4,800	5,067	5,192			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	31,094	32,078	33,594	31,598			
	職員数(常勤 非常勤)	2.10 4.89	2.25 4.76	2.25 5.31	2.05 5.31			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	18,984	20,477	20,743	18,792			
	②報酬合計(非常勤)	11,045	10,376	11,844	11,844			
	③退職金相当額	1,065	1,225	1,007	962			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	7,148	437	-565	-845			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	7,148	437	-565	-845			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	103.61	420,619	87.78	425,105	89.11	427,501	83.73	429,317

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		社会教育委員会において様々な意見をいただくことで、本市の社会教育基盤の整備につながった。							
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-	-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	平成30年度末時点の課題	「生涯学習ふじさわプラン2021」の効果的な推進を図るため、市民の視点や専門的な視点を有する社会教育委員会において進捗管理を行っている。限られた時間でいかに円滑に進行し、効果的な意見をいただき、それらを事業に反映するかが課題である。
(2)	(1)解決のための今後の取組	事業の経年変化に着目する等進捗管理方法を工夫し、事業課にフィードバックできる体制を整える。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員会を7回開催し、「生涯学習ふじさわプラン2021」の進捗管理について協議を行ったことで、より一層の社会教育の推進が図られた。 社会教育職員の研修を7回行い、社会教育に関する知識や技術を学ぶことで、各社会教育施設等での社会教育の推進に寄与した。 	
今後の方針	事業の方向性	現状維持 <ul style="list-style-type: none"> 引き続き社会教育委員会において、生涯学習ふじさわプラン2021の進捗管理を行うとともに、社会教育行政の基盤整備に努める。 公民館職員が、学習の成果を地域づくりにつなげる「コーディネーター」としての役割をより一層高めるために、研修内容の検討を進める。

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
3	後援等名義使用に関すること	無	無	1	1
15	社会教育委員会会議の庶務	無	有	3	3
23	社会教育職員等研修会(新任職員研修, 月例研修)	無	有	2	2

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	生涯学習推進事業費										担当	部課名	生涯学習部生涯学習総務課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	003	説明	01	課等の長	齋藤 拓也	電話	5312

1. 事業概要

事業開始年度	平成 22 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市民の主体的な学習を推進し、その学習成果を生かすことができる生涯学習社会の構築を目的に、藤沢市生涯学習大学、生涯学習人材バンク「湘南ふじさわ学びネット」及び生涯学習出張講座「こんにちは！藤沢塾です」の運営を行う。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等							
事業実施内容	1 生涯学習大学事業の実施（17講座，765人受講） 郷土愛を育む活動分野（ふじさわ基礎学コース，放送通信コース，オリンピック・パラリンピック応援コース），人材育成・学習成果活用分野（地域活動コース，市民講師コース） 2 生涯学習人材バンク「湘南ふじさわ学びネット」の運営（講師登録282人，利用件数109件） 3 生涯学習出張講座「こんにちは！藤沢塾です」の運営（登録講座101講座，実施回数77回）						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 藤沢エフエム放送(株)，(特非) 藤沢市民活動推進機構) (委託等内容 : 放送通信コース，地域活動コース) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 8,400 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		報償費	725 千円	生涯学習大学事業講師謝礼
		需用費	4,139 千円	生涯学習活動推進室初度調弁，事業用ポスター等印刷費
		委託料	3,502 千円	放送通信コース・地域活動コース委託料
		使用料及び賃借料	34 千円	会場使用料
財源内訳	H30年度 支出済額 8,400 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	8,400 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	1.34
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.34
※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員	

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コスト 支出	行政費用 A	18,261	23,305	17,391	20,856
	(1)現金を伴う支出 (千円)	18,546	22,204	18,764	21,313
	事業費(支出済額-②報酬合計)	5,180	5,421	4,844	8,400
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	13,366	16,783	13,920	12,913
	職員数(常勤 非常勤)	1.40 0.00	1.74 0.00	1.44 0.00	1.34 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	12,656	15,836	13,275	12,284
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	710	947	645	629
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-285	1,101	-1,373	-457
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	-285	1,101	-1,373	-457
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他 ()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	43.41 420,619	54.82 425,105	40.68 427,501	48.58 429,317	

成果実績	指標名	生涯学習大学事業参加者数(延べ人数)	目標	1,210	単位	人	1,286	単位	人	1,410	単位	人	813	単位	人
		実績	958	単位	人	1,171	単位	人	1,452	単位	人	765	単位	人	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由														
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			19,061.59			19,901.79			11,977.27			27,262.75			

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	様々なテーマで生涯学習に関する事業を展開しているが, 全年代を受講ターゲットとしても, いずれの受講者もシニア層に偏りがちである。多様な学習プログラムを提供するとともに, 様々な年代が学習に参加できるように, 年代ごとに対象を絞ったテーマの設定や, 開催場所, 日時等の見直しが必要である。
(2) (1)解決のための今後の取組	「生涯学習活動推進室」が複合施設に入ることから, 労働・福祉・子ども部門と連携し, 勤労世代・保護者世代であるミドルエイジ(40～50代)に対しての事業展開を図り, 地域人材の発掘・育成に努める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	オリンピック・パラリンピック競技大会等, 藤沢市を取り巻く環境を踏まえた事業展開を行い, 市民の生涯学習を推進した。また, 市民の学習ニーズを汲み取った事業を実施し, 市民の主体的な学習を促すことができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
今後の超高齢社会における諸課題の解決, 地域人材の育成等, 生涯学習の役割の重要性が増す中で, 平成31年度に「生涯学習活動推進室」が開室したことから, 「生涯学習活動推進室」事業と公民館事業との差別化を図り, 学習環境の提供と主体的なネットワークの構築を通じて, 市の生涯学習が目指す生涯学習ふじさわプラン2021の基本理念である「一人ひとりの学びから地域の人がつながり藤沢の未来を創造する」社会の実現を図っていく。		

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
4	生涯学習ふじさわプランに関すること	無	有		1
5	生涯学習大学の運営(事業計画・事業実施)	有	有	3	3
6	生涯学習大学の運営(大学評議員会)	無	有	3	3
8	生涯学習人材バンクの登録	無	有	3	3
9	生涯学習人材バンクの利用	無	有	3	3
10	生涯学習出張講座の運営	無	有	3	3
16	生涯学習推進本部の庶務	無	無	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	社会教育関係事業費	担当課	部課名	生涯学習部生涯学習総務課		
予算科目コード	会計 01 款 11 項 06 目 01 細目 004 説明 01	課等の長	齋藤 拓也	電話	5312	

1. 事業概要

事業開始年度	平成 22 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	大学などの高等教育機関, 社会教育関係団体と連携し, 社会教育に関する各種の事業を実施し, 個人, 団体に関わらず, 成人各層を対象にした学習活動の充実を図る。				
対象	1. 個人	市民			429,317 人
根拠法令等					
事業実施内容	・大学市民講座開設業務委託(慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス・湘南工科大学・多摩大学グローバルスタディーズ学部・日本大学生物資源科学部) ・保育者セミナー, 人権講座の開催				
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス・湘南工科大学・多摩大学グローバルスタディーズ学部・日本大学生物資源科学部) (委託等内容: 大学市民講座開設業務) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 () <input type="checkbox"/> その他 ()				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		旅費	4 千円	事業用旅費
		需用費	85 千円	保育者セミナー, 人権講座等消耗品
	1,126 千円	委託料	1,037 千円	市内4大学市民講座開設業務
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
	1,126 千円	一般財源	1,126 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.34
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.34

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
 ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
コスト	支出	行政費用 A	15,541	9,518	5,335	3,742
		(1)現金を伴う支出 (千円)	12,818	9,409	6,482	4,403
		事業費(支出済額-②報酬合計)	5,180	1,307	1,262	1,126
		償還金利息	0	0	0	0
		人件費合計(①+②+③)	7,638	8,102	5,220	3,277
		職員数(常勤 非常勤)	0.80 0.00	0.84 0.00	0.54 0.00	0.34 0.00
		参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
		①職員給与合計(常勤)	7,232	7,645	4,978	3,117
		②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
		③退職金相当額	406	457	242	160
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	2,723	109	-1,147	-661
		①減価償却費	0	0	0	0
		②退職給与引当金繰入額	2,723	109	-1,147	-661
		③不納欠損額	0	0	0	0
④その他 ()	0	0	0	0		
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		36.95 420,619	22.39 425,105	12.48 427,501	8.72 429,317	

成果実績	指標名	大学市民講座参加者数(実数)	目標	970	単位	890	単位	890	単位	890	単位
			実績	587	単位	611	単位	562	単位	528	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				26,475.30		15,577.74		9,492.88		7,087.12	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	他の事業（本課生涯学習大学や公民館事業）で行っている講座で人権教育と取れる内容のものを行っているため，人権講座の実施手法について整理する必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	より効果的，効率的な事業展開とするため，他事業と組み合わせて，より効果的な手法を検討して行っていく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市内4大学と連携した講座や，人権講座を実施することで，特に成年層の市民に対し，学習活動の支援を行うことができた。	
今後の方針	事業の方向性	実施手法の見直し
	人権講座について，事業の有効性をより効果的なものとするため，あり方を検討していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
11	保育者セミナー（事業計画・事業実施）	無	有	3	3
12	人権教育講座・女性学講座（事業計画・事業実施）	無	有	3	3
13	大学市民講座業務委託（市内4大学）	無	有	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	生涯学習表彰費										担当課	部課名	生涯学習部生涯学習総務課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	005	説明	01	課等の長	齋藤 拓也	電話	5311

1. 事業概要

事業開始年度	平成 25 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	本市在住・在学・在勤等で、文化・芸術・スポーツ・読書活動・その他の生涯学習分野において活躍された個人や団体に対し、その荣誉と功績を称えることにより、一層の活躍を期待するとともに、広く市民に周知を図ることにより、更なる生涯学習活動の普及、促進が図られるよう表彰を行う。						
対象	4. その他	藤沢市在住、在学又は在勤等の個人又は団体				429,317	人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市生涯学習特別貢献表彰要綱						
事業実施内容	生涯学習特別貢献表彰式を6回実施し、個人11人、団体6組に対して表彰を行った。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 519 千円	事業費節別内訳													
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容											
		報償費	508 千円	生涯学習特別貢献表彰記念品											
		役務費	11 千円	表彰状筆耕料											
財源内訳	H30年度 支出済額 519 千円	事業費節別財源内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.44</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.44</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	0.44	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.44
			平成30年度												
		正規職員等	0.44												
		再任用短時・任期付短時職員	0.00												
		非常勤職員	0.00												
		合計	0.44												
		費目	支出済額(千円)												
分担金・負担金															
使用料・手数料															
国庫支出金															
県支出金															
その他()															
一般財源	519 千円														

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	7,003	5,874	5,625	4,398			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	5,301	5,756	5,760	4,758			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	527	547	540	519			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	4,774	5,209	5,220	4,239			
	職員数(常勤 非常勤)	0.50 0.00	0.54 0.00	0.54 0.00	0.44 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	4,520	4,915	4,978	4,033			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	254	294	242	206			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,702	118	-135	-360			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	1,702	118	-135	-360			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	16.65	420,619	13.82	425,105	13.16	427,501	10.24	429,317

成果実績	指標名	表彰回数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	6	単位	7	単位	7	単位	6	単位	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		表彰は、全国規模の大会等で優秀な成績を収めた在学、在勤等の方に対し、都度表彰するもので、毎年の表彰対象者を計れないため目標値を設定しない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		1,167,166.67	839,142.86	803,571.43	733,000.00						

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	表彰対象となる生涯学習分野は非常に幅広く，また対象となる功績等の情報の出処も様々であるため，どのように効率的かつ正確に対象となる対象者情報を把握していくかが課題である。
(2) (1)解決のための今後の取組	新聞やインターネット等を中心に継続的な情報収集に努めるとともに，庁内他課等にも情報提供の範囲を広げ，効率的かつ確実に表彰対象者の情報の把握を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	文化、芸術、スポーツその他の生涯学習分野で顕著な成績をおさめた方の功績を表彰式という場で称えることは、被表彰者の今後の更なる活躍につながることを期待でき、また、その功績を広めることは市民にとって「郷土愛あふれる藤沢」を実現する一助となるものであり、意義のある事業である。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	本市の生涯学習活動の発展が、「郷土愛あふれる藤沢」の実現につながることから、今後も当該事業を継続して行う。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
2	生涯学習特別貢献表彰に関すること	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	公民館管理費										担当課	部課名	生涯学習部生涯学習総務課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	001	説明	01	課等の長	齋藤 拓也	電話	5312

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務									
事業概要	公民館の円滑な運営・管理のための施設等の維持管理。															
対象	1. 個人 市民														429,317	人
根拠法令等	法律等 社会教育法, 地方教育行政の組織及び運営に関する法律, 藤沢市公民館条例															
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 公民館施設申請管理システム・自動券売機等の維持管理, 消耗品等必要物品の整備 機械警備による施設監視(単独館及び2分館) 施設管理・設備点検(単独館及び2分館) 公民館における, 施設の突発的な破損に対する修繕 公民館運営審議会の運営(委員長1人 委員19人) 4回開催 															
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施															
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: (公財)藤沢市まちづくり協会, セコム(株), 藤沢市民会館)															
	(委託等内容: サービス・センター(株)等)															
	(委託等内容: 施設管理・設備点検等業務, 機械警備業務, 音響・照明・舞台等設備保守点検業務等)															
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金: 神奈川県公民館連絡協議会負担金・全国公民館研究集会参加負担金)																
<input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 48,428 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		報酬	741千円	公民館運営審議会委員報酬
		需用費	4,146千円	自動券売機修繕, 公民館施設修繕, 消耗品購入ほか
		委託料	15,588千円	施設管理・設備点検等業務委託, 機械警備業務委託
		使用料及び賃借料	27,321千円	施設予約システム機器賃借料ほか
その他 632千円 審議会会議録反訳料, 会議参加負担金ほか				
財源内訳	H30年度 支出済額 48,428 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	21,635千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源 26,793千円				

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	1.55
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.55

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	67,041	66,215	64,372	62,885			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	61,595	65,761	65,124	63,364			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	46,319	48,881	49,174	48,428			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	15,276	16,880	15,950	14,936			
	職員数(常勤 非常勤)	1.60 0.00	1.75 0.00	1.65 0.00	1.55 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	14,464	15,927	15,211	14,209			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	812	953	739	727			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	5,446	454	-752	-479			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	5,446	454	-752	-479			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	159.39	420,619	155.76	425,105	150.58	427,501	146.48	429,317

成果実績	指標名	-	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績	-	実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		施設等の維持管理を目的とした事務事業のため、指標の設定ができない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	施設老朽化に伴う施設修繕要望が増えているが，突発的に発生することが多く，計画的に進めることが難しい。
(2) (1)解決のための今後の取組	施設再整備を控えている館の修繕は必要最低限とし，他館の修繕に手を付けられるよう調整・検討する。なお，市民センター併設館については，市民自治部とも調整・相談をしながら検討する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	施設の機械警備等を始めたハード面の管理や，公民館施設予約システム，自動券売機等ソフト面の管理により，公民館の円滑な運営・管理を行うことで市民サービスの向上を図ることができたと考える。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	今後も引き続き，円滑な公民館運営を図り，市民が気持ちよく各施設を利用できるよう必要な維持管理を行っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
17	公民館長会議	無	無		2
19	公民館運営審議会委員委嘱・報酬支給	無	無	3	
20	公民館運営審議会	無	無	3	1
24	公民館の施設管理	有	有	1	
25	施設予約管理システム	無	有	3	1
26	公民館使用料	無	無	1	
29	公民館事業の予算管理	無	有	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	公民館事業費										担当課	部課名	生涯学習部生涯学習総務課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	002	説明	01	課等の長	齋藤 拓也	電話	5312

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 40 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	すべての市民が生涯にわたって、いつでも、どこでも、さまざまな学習や文化・スポーツ活動に親しめるよう13公民館で各種事業を展開する。						
対象	1. 個人	市民				429,317	人
根拠法令等	法律等	社会教育法, 地方教育行政の組織及び運営に関する法律, 藤沢市公民館条例					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・13公民館の事業のための消耗品及び物品修繕等 ・海洋科学教室の開催 						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 株式会社新江ノ島水族館) (委託等内容 : 海洋科学教室) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 1,799 千円	事業費節別内訳													
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容											
		需用費	511 千円	公民館事業用消耗品, 公民館物品修繕											
		委託料	949 千円	海洋科学教室業務委託											
財源内訳	H30年度 支出済額 1,799 千円	事業費節別財源内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.34</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.34</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	0.34	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.34
			平成30年度												
		正規職員等	0.34												
		再任用短時・任期付短時職員	0.00												
		非常勤職員	0.00												
		合計	0.34												
費目	支出済額 (千円)														
分担金・負担金															
使用料・手数料															
国庫支出金															
県支出金															
その他 ()															
一般財源	1,799 千円														

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	9,834	8,256	6,648	4,415			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	7,792	8,140	7,121	5,076			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	2,064	1,967	1,901	1,799			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	5,728	6,173	5,220	3,277			
	職員数(常勤 非常勤)	0.60 0.00	0.64 0.00	0.54 0.00	0.34 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	5,424	5,825	4,978	3,117			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	304	348	242	160			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	2,042	116	-473	-661			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	2,042	116	-473	-661			
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	23.38	420,619	19.42	425,105	15.55	427,501	10.28	429,317

成果実績	指標名	海洋科学教室参加者数	目標	260	単位	260	単位	260	単位	260	単位
			実績	260	単位	260	単位	260	単位	260	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				37,823.08		31,753.85		25,569.23		16,980.77	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	平成30年度末時点の課題	海洋科学教室について，普段ではできない体験をすることを目的のひとつとしているが，本事業でなくとも体験できるプログラム内容で行われている現状がある。
(2)	(1)解決のための今後の取組	プログラムの見直しを含め，事業の必要性や有効性を検証していく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	13公民館で展開している各種事業のひとつとして，海洋科学教室を実施し，市民の生涯学習を支援することができる。	
今後の方針	事業の方向性	一部見直し
	引き続き，事業を継続実施することで学習活動支援をしていくが，従来の事業実施方法の見直しを図り，より効果的な事業となるよう事業者と調整を行い，また検証を行っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
14	海洋科学教室(新江ノ島水族館)	無	有	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	公民館運営業務費										担当課	部課名	生涯学習部生涯学習総務課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	003	説明	01	課等の長	齋藤 拓也	電話	5312

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市民センターを併設する11公民館において、社会教育事業の企画実施等、公民館運営を行う。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	法律等	社会教育法, 地方教育行政の組織及び運営に関する法律, 藤沢市公民館条例					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館非常勤職員の配置 (78人) ・公民館業務用パソコンの賃借 (46台) ・公民館バス事業の実施 (20事業) 						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
		費目	支出済額 (千円)		主な事業内容
		報酬	104,274 千円		公民館非常勤職員報酬
		旅費	2,704 千円		非常勤職員通勤費, 会議・事業・研修旅費
	111,998 千円	需用費	183 千円		公民館業務用消耗品
	使用料及び賃借料	4,837 千円	公民館バス使用料, 公民館業務用PC賃借料		
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		平成30年度	
		費目	支出済額 (千円)	正規職員等	
		分担金・負担金		2.94	
		使用料・手数料		0.00	
	111,998 千円	国庫支出金		42.17	
		県支出金		45.11	
	その他 ()				
	一般財源	111,998 千円			

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	155,845	146,686	141,218	139,699			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	145,634	145,974	142,656	140,328			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	10,943	7,942	7,998	7,724			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	134,691	138,032	134,658	132,604			
	職員数(常勤 非常勤)	3.00 42.28	3.24 42.88	3.04 42.55	2.94 42.17			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	27,120	29,487	28,026	26,951			
	②報酬合計(非常勤)	106,049	106,781	105,271	104,274			
	③退職金相当額	1,522	1,764	1,361	1,379			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	10,211	712	-1,438	-629			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	10,211	712	-1,438	-629			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	370.51	420,619	345.06	425,105	330.33	427,501	325.40	429,317

